

基調講演

演題：「地方創生」に関する地域金融機関と日本政策投資銀行との連携について

講演者：日本政策投資銀行 経営企画部担当部長 友定 聖二

◆「総合戦略」における金融機関の主な役割

「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」

- ・地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備
- ・地域産業の競争力強化（業種横断的取組）
- ・地域産業の競争力強化（分野別取組）
- ・地方への人材還流、地方での人材育成、地方の雇用対策

「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

- ・中山間地域等における「小さな拠点」の形成
- ・地方都市における経済・生活圏の形成
- ・人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

◆日本政策投資銀行による連携メニュー・提供ナレッジ（一部を抜粋）

地域みらいづくり・i-hub



社会的課題・ニーズの解決を企図するビジネスコンセプトをデザインする「場」の提供。

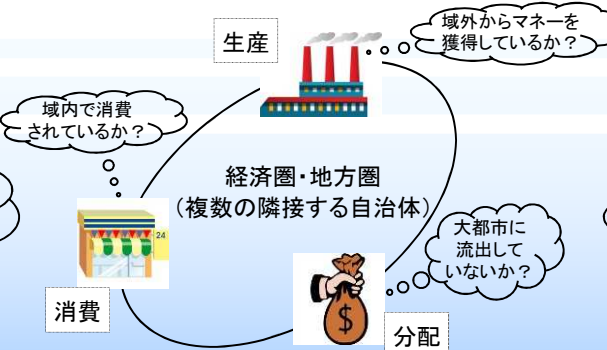
DBJ

超高齢化社会でのモビリティはどうすればよいか…



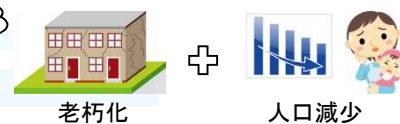
1つのテーマに対して、ダイバーシティなメンバーによるブレインストーミングを実施。

地域の経済循環分析モデル



各自治体が総合戦略を作成する上で、自らの地域の経済循環構造を把握できるよう、地方都市レベルでの経済循環分析が可能なシステムを作成、提供予定。

自治体公有資産マネジメント



老朽化

人口減少

いつ建替えればいいのか？
将来的な更新コストは？
適正な施設配置とは？

自治体



自治体保有資産、地域人口動態、自治体財政状況を把握し、自治体の方針策定支援や個別資産マネジメントを実施。

DBJによる連携支援

地域金融機関

連携

自治体

意見交換（主な意見）

・北陸三県は、それぞれに持ち味がある。地方のことは地域金融機関が一番よく分かっているはずであり、地域金融機関と政策投資銀行とがより密に連携し、各地域の経済界で、ひとつくりも含め、活性化を強力に進めていただきたい。

・人口減少により地方がどんどん疲弊していく中、これ以上大きな成長は望めないのであれば、どのように地域をたたんでいくかという見方も必要であって、これまで必要だったインフラをどのようにして片づけていくかということも非常に重要になってくる。これまでのような公共投資（ハード）による活性化から、ソフトに転換したシステムをどのような形で構築していくかということが必要になってくる。

・地方銀行にもマネジメント機能やシンクタンク的な機能というものを磨いて欲しい。政策投資銀行には自らが築いたモデルやノウハウを地方銀行に継承し、地方銀行が地元自治体の公有資産マネジメントに関わっていく仕組みができればよいのではないかと考える。

・総合戦略に明示されている地方銀行の役割は、濃淡はあるが、本業として既にやってきている部分が大部分であることから、今後、これをいかに高めていくかが重要なのだろうと考えている。

・地域づくりについては従来から取り組んでいるが、遅々として進まないというジレンマがある。国と地方が今までのやり方に慣れていて、それを変える勇気に欠けているのではないかと。具体的な施策やテクニックは新たに出てくるが、それを出す人、受け取る人が今までと同じ気持ちでやっていたのでは実を結ばないだろう。